

## 今月の相談事例（12月号）

顧問先社長 経営幹部各位

〒428-0004 静岡県島田市横岡 640-2  
三浦労務経営事務所  
特定社会保険労務士 三浦 茂  
TEL 0547-45-5811/FAX 0547-45-5821  
URL <http://masterslink.jp/sr/miura/>

### 【相談】

暮れの皆が忙しい時期に退職を申し出てきた者がいます。退職の申し出は1ヶ月前までに行うという規則があったのでそうしたと言うのです。その者は、8月越権専断の行為をしていましたので始末書をとっていたのですが、10月に仕事が暇だったことにかまけて、会社のPCで私的目的のサイトにアクセスし、PCに有害なSWを取り込んでしまっていました。そのSWについては、どこでどのように入り込んでしまったのか知らないで自分に責任はないと言います。どう処置すべきでしょうか？

### 【アドバイス】

この種の人たちに特徴的なことは、

- ・独断的に事を進める。
- ・決めつけが強く後に引かない。
- ・会社や同僚の迷惑を顧みない。
- ・悪いことをしても、悪びれない。
- ・周りの人たちの思いを汲むことができない。
- ・事前に責任ある人に相談することをしない。
- ・自分の行動を正当化する根拠を見つけ出してくる。
- ・自分の行動は人や社会的要請によるものだと主張する。
- ・状況証拠だけでは、責任を明らかにできないと言いつける。
- ・事実確認をしても子細はよく分からない、覚えていないとしらばっくれる、など。

対話をしようとしても“あ一言ええ、こ一言う。こっちを押さえれば、向こうに回る。”となって、会話が成立しません。

自分を一方的に正当化することから、その根拠となる要件の認識間違いや未充足性を指摘したとしても、正当化を後退させられないので、その論理性を理解するまでに至りません。

頑固な上に、結果を得ようとする執着が強いので、人を蔑（さげす）むことになります。

必然的に行動や思考の柔軟性がない、思慮分別が足りないと周りから評価されることになり、自分を悪い境地にどんどん追いやっていきます。もし、他責化する思考が強いならば、上司や会社を逆恨みし、労使紛争を形成させることにもなるでしょう。もし、極度に自制するならば、自分を“うつ病”化させることにもなるでしょう。

とはいっても、形式的なことやルーチンワーク的なことを没個性的に担ってきたはずで、その没個性的に与えられた業務に専念してきたことで業務が回っていたことを忘れてはなりません。（本人もそう思っています。）

人は使いようによっては、日本刀のように切れる刃物になったり、ただの錆びた棒にすぎなかったりします。無口で従順な従業員となるのか、逆賊となって会社に牙を向ける者になるのか、使用者の使い方にあるとも言えるかもしれません。

そのきっかけが異動であったり、職務ローテーションであったり、休業であったりします。もともとコミュニケーション能力が優れない者であるため、職場環境の急変、使命や役割の変化、人間関係の変貌に対応しきれないのです。それでありながら自尊心や自負心が強いことが災いし、自分の置かれた状況や状態を不本意に思え、周りを煩わせていくことになるようです。

一般的には、このような人に会社は手を焼き、処置に困り果てるのですが、相談の方は自ら退職を申し出てきているのですから、円満な退職の道を用意してあげることが双方にとって幸いなることでしょう。